



平成28年9月定例会終わる

菌山街道in甲奴
青少年育成甲奴町民会議「お山の学校」
(10月15日)

- 02 こんなことが決まりました
- 05 平成27年度 決算認定
- 06 委員会審査
- 07 市政を問う 12人が一般質問に立つ
- 15 議会報告・懇談会の開催について
- 16 議会のうごき



三次市議会のホームページもご覧ください。

HPアドレス

<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

▶市議会のページ

【三次市議会のページ(携帯サイトではありません)へアクセスします。】

ました

9月定例会を9月9日（金）から10月3日（月）まで開催し、議案32件及び意見書案1件を原案のとおり可決しました。

9月定例会

新設された条例

■三次市子ども集会所設置及び管理条例

全員一致

子どもたちが安心して安全に過ごせる施設を提供し、もって、子どもの健全な育成に資するため、条例を制定する。

その主な内容は、甲奴子ども集会所及び十日市子ども集会所の名称及び位置のほか、その利用等について必要な事項を定める。

■三次市地域活動支援施設設置及び管理条例

全員一致

地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、生活に必要な機能の提供や地域活動の維持及び地域交流を図るために、自主的、自立的な生活拠点機能等を確保する取組に対し、それが効果的に進められるよう協働し、その支援を目的として、条例を制定する。

その主な内容は、川西地域活動支援施設の名称及び位置のほか、その業務及び管理等について必要な事項を定める。

■三次市公の施設の整理のための関係条例の整理等に関する条例

全員一致

広島法務局による山耕地番重複の解消作業等に伴い、関係条例である「三次市地域集会所設置及び管理条例」ほか13条例の一部を改正しようとするもの。

その主な内容は、「田幸」ほか4区域の山林部に所在する市有施設の所在地番を変更後の登記地番に合わせようとするもの。

一部改正された条例

■三次市手数料徴収条例

全員一致

「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」の制定に伴い改正する。

その主な内容は、新たな事務となる「建築物エネルギー消費性能向上計画」及び「建築物のエネルギー消費性能」の認定審査についての審査手数料を定める。

■三次市過疎地域自立促進基金条例

全員一致

新しい「三次市過疎地域自立促進計画」が可決されたことに伴い改正する。

その内容は、計画期間を「平成28年度から平成32年度まで」に改める。

■三次市工場等設置奨励条例

全員一致

工場等の設置奨励措置の充実を図り、本市への工場等の立地を一層促進することを目的として改正する。

その主な内容は、立地インセンティブを刺激することを目的として、地盤改良奨励金を新設する。

その他の議案

■過疎地域自立促進計画の変更について

全員一致

平成28年3月に策定した過疎地域自立促進計画に、新たに「林業専用道東山線」ほか17事業を追加し、「東山線」及び「山家線」の事業名等を変更し、同計画を変更する。

■和解することについて

全員一致

平成20年12月8日に三次市三和町の市道聖地番郷線の聖橋で発生した転落事故による損害賠償請求事件の相手方と和解条項に基づき和解する。

■個別外部監査契約に基づく監査によることについて

全員一致

三次市が出資しているものの監査について、監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査を行う。

こんなことが **決**まり

個別外部監査契約の締結について

全員一致

三次市が出資している団体の出納事務等に関する監査の報告のため、個別外部監査契約を締結する。

契約の相手方 加藤 雅之
契約金額 350万円を上限とする額

財産の無償貸付について

全員一致

生活に必要な機能の提供や地域活動の維持及び地域交流を図るための川西郷の駅整備用地として、土地1,464平方メートルを無償貸付する。

人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

三上 勝明（十日市南）
（任期は平成29年1月1日から3年間）

人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

林 千祐（三良坂町）
（任期は平成29年1月1日から3年間）

人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

山崎 政廣（三和町）
（任期は平成29年1月1日から3年間）

人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

檜高 基満（布野町）
（任期は平成29年1月1日から3年間）

人権擁護委員の候補者の推薦について

全員一致

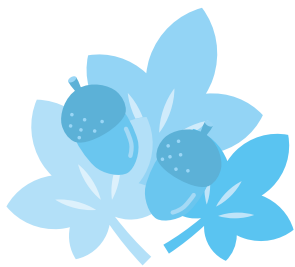
熊谷 晴幸（布野町）
（任期は平成29年1月1日から3年間）

意見書

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

全員一致

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。



9月定例会 審議結果（全員一致以外のもの）

○…賛成 ×…反対

区分	結果	亀井	竹原	大森	助木	池田	岡田	小田	福岡	保実	穴戸	吉岡	新家	杉原	齊木	澤井	山村	桑田	鈴木	横光	伊藤	黒木	弓掛	重信	藤井
議案第85号 平成27年度三次市病院事業会計決算認定について	可決 議長		○	○	○	○	監査委員	×	退席	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×

平成28年度 一般会計予算の補正 (第3号)

補正額 15億2,459万8千円追加 **総額** 393億2,855万8千円

主な補正内容

《歳入》	・繰越金	9億5,205万4千円	
	・市債	5億6,300万円	
	・国庫支出金	4,137万8千円	
	・県支出金	3,115万5千円	
	・分担金	813万2千円	
	・諸収入	▲1,000万円	
《歳出》	・地方交付税	▲6,385万5千円	
	・基金積立	8億2,213万1千円	
	・道路橋梁維持工事等	3億2,338万5千円	
	・災害復旧経費	1億2,300万円	
	・まちづくりセンター改修事業	5,000万円	
	・(仮称) みよしあそびの王国室内遊具場整備事業	3,922万6千円	
	・川西地域活動支援施設整備事業	2,100万円	
	・過年度国庫支出金精算返納金	3,042万4千円	
	・橋梁新設改良工事	1,600万円	
	・保育所整備事業	1,550万円	
	・地域活性化調査研究事業	1,500万円	
	・介護施設等開設準備経費等支援事業補助金	1,242万円	
	・放課後児童クラブ臨時職員賃金	1,062万5千円	
	・地方創生推進事業	1,000万円	
	・消防格納庫整備事業	1,000万円	
	・地域情報化推進事業	945万円	
	・商工振興事業補助金	500万円	
	・プロ野球公式戦開催事業貸付金	▲1,000万円	
	《債務負担行為》	・(仮称) みよしあそびの王国室内遊具場開設記念事業	
	《地方債》	・過疎地域自立促進事業	

ほか

(▲は減額)

平成28年度 一般会計予算の補正 (第4号)

補正額 1億5,580万円追加 **総額** 394億8,435万8千円

主な補正内容

《歳入》	・国庫支出金	4,669万円
	・市債	3,910万円
	・繰越金	3,060万5千円
	・県支出金	2,921万円
	・分担金	1,019万5千円
《歳出》	・道路・河川災害復旧経費	9,400万円
	・農地・農業施設災害復旧経費	6,060万円
	・小規模農業施設改良事業補助金 (災害復旧分)	70万円
	・土地改良区運営費補助金 (災害復旧分)	50万円
《繰越明許費》	・現年災害公共土木復旧事業	
	・現年災害農地復旧事業	
《地方債》	・現年災害農地復旧事業	

ほか

平成28年度 特別会計予算の補正

会計名	補正額	総額
介護保険特別会計(第1号)	1億2,372万4千円	72億3,644万5千円
下水道事業特別会計(第1号)	繰越明許費(下水道事業)	
簡易水道事業特別会計(第1号)	繰越明許費(水道管移設工事負担金)	

平成27年度決算を認定

一般会計・特別会計など11会計を審査

予算決算常任委員長報告

9月定例会で提案された各会計の決算は、会期中、本委員会において、審査初日には、市長の出席を求め、会派代表による決算に関する総括質疑を行いました。

また、各議案の審査においては、担当部長等の出席を求め、審査いたしました。

議案第85号「平成27年度三次市病院事業会計歳入歳出決算認定について」は、審査の結果、賛成多数をもって認定してよいものと決しました。

次に、議案第76号「平成27年度三次市一般会計歳入歳出決算認定について」外議案9件については、いずれも全員一致をもって認定してよいものと決しました。

【主な審査意見】

1 議案第85号「平成27年度三次市病院事業会計歳入歳出決算認定について」

薬品などの購入に際し、減価償却費から流用したことは不適切な会計処理であると監査委員からも指摘されており、このことは議会軽視と言わざるを得ない。今後は、二度とこのようなことが起きないように、本来行うべき補正予算などの適切な事務処理を行うこと。

2 議案第86号「平成27年度三次市水道事業会計決算認定について」

簡易水道との統合を見据えて、有収率や接続率を高めるなど効率的な事業運営や安定的な経営維持を図る取組を進めるとともに、早期にマスタースケジュールを立て、十分市民に周知されたい。

各会計の決算状況

(単位：円)

会計名		歳入	歳出	差引
一般会計		40,322,501,422	39,132,735,543	1,189,765,879
国民健康保険特別会計		7,097,046,288	7,069,358,813	27,687,475
診療所特別会計		148,784,036	140,654,361	8,129,675
介護保険特別会計		7,225,824,561	7,106,639,818	119,184,743
後期高齢者医療特別会計		740,776,534	724,772,004	16,004,530
土地取得特別会計		135,152	135,152	0
下水道事業特別会計		2,413,759,171	2,413,759,171	0
農業集落排水事業特別会計		579,300,857	579,300,857	0
簡易水道事業特別会計		813,295,172	813,295,172	0
病院事業会計	収益的収支	9,217,201,783	8,666,949,878	550,251,905
	資本的収支	887,149,000	2,180,639,442	
水道事業会計	収益的収支	1,193,995,172	1,110,080,374	83,914,798
	資本的収支	537,844,120	988,747,164	

委員会審査

(委員長報告)

定例会で、各常任委員会に審査付託となりました議案について、その審査の経過と結果を報告します。

総務常任委員会

本委員会では、議案第67号「三次市地域活動支援施設設置及び管理条例（案）」外議案6件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた各議案に対する指摘及び意見について、その主なものは次のとおりです。

- 1 議案第67号「三次市地域活動支援施設設置及び管理条例（案）」
今後想定される指定管理料の算定にあたり十分熟慮されたい。
- 2 議案第73号「個別外部監査契約に基づく監査によ

ることについて」

その趣旨である、地方公共団体の監査機能の専門性・独立性を強化し、地方公共団体の監督機能に対する住民の信頼を高めるため、監査結果を実施団体の経営改善に繋げるよう十分考慮されたい。

- 3 議案第75号「財産の無償貸付について」
株式会社川西郷の駅の運営にあたり、自主的、自立的な生活拠点機能を確保するため公有用地を無償で貸し付けるものであるが、無償貸付期間内において、コンビニやレストラン経営による収益事業の経営安定化が図られるとともに、今後の無償貸付については十分検討されたい。

教育民生常任委員会

本委員会では、議案第66号「三次市子ども集会所設置及び管理条例（案）」については、審査の結果、全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものは次のとおりです。

- 1 議案第66号「三次市子ども集会所設置及び管理条例（案）」
今後も、それぞれの地域の状況を踏まえて、安心して過ごせる放課後児童クラブとなるよう取り組まれたい。

産業建設常任委員会

本委員会では、議案第69号「三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例（案）」外議案2件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものは次のとおりです。

- 1 議案第72号「和解することについて」
今後、同様の事故が起こらないように、市内にあるすべての橋梁について点検を実施され、修繕等が必要な橋梁については早急に対応されたい。

予算決算常任委員会

【補正予算】

本委員会では、議案第87号「平成28年度三次市一般会計補正予算（第3号）（案）」外3件については、審査の結果、いずれも全員一致をもって原案のとおり可決してよいものと決しました。

補正予算審査の過程において、各委員から述べられた指摘及び意見について、その主なものは次のとおりです。

- 1 施設改修にあたっては、その目的や維持管理の方法など、事前に議会に説明がなされるよう十分留意されたい。

- 2 三次版DMOについて、対象となる組織や行政との関わりを含め、どのような三次版観光を作っていくとしているのか早急に明らかにされたい。
- 3 複数部署にまたがる施設の維持管理、修繕や改修工事にあたっては、部署間の連携を密接にして、できるだけ同時進行を行い、無駄のない円滑な事業の実施に努められたい。
- 4 予算編成時において、新たな事業実施や課題解決に向けた取組など、それぞれの様々な特徴を捉え、可能なものは当初予算に計上し、年度間を通した均等な発注や年度初めからの事業執行が行えるよう、よりスピーディーな対応に努められたい。

市政を問う

【平成28年9月定例会 一般質問】

9月定例会では、12名が市政をたできました。

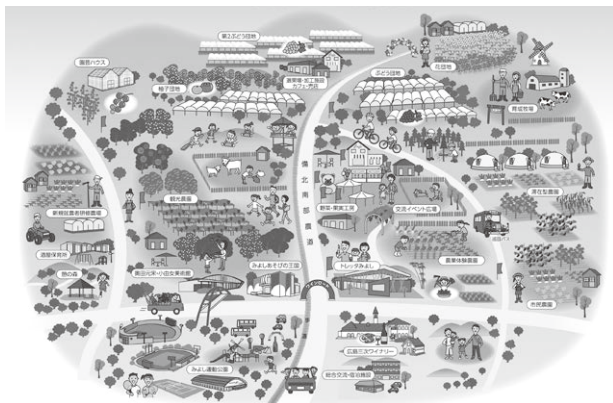
質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を製本の後、議会事務局、各支所、三次市立図書館及び分館に常設します。

また、三次市ホームページ（アドレスは下記のとおり）では会議録と本会議の録画映像をご覧ください。

なお、一問一答方式で一般質問を行っていますが、紙面の都合上まとめて記載しています。

HPアドレス <http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp>

→ 市議会のページ → 市議会議事録
→ 三次市議会インターネット配信



仮称みよしアグリパーク構想図

備北南部道路を中心に観光と一体化した三次市農業振興プランの展開は、三次市の名を日本列島の津々浦々までに浸透させることができると思われる。

三次市の知名度アップは、第2次三次市総合計画の目標達成に大きな追い風となると考えるが。

質問 1 増田市政について伺う



桑田 典章
清友会

本市の基幹産業である農業と観光、交流をつなげ、将来それを定住や三次の発展につなげていくことを大きな構想としており、広島県の協力も得ながら県内、中国地方、さらには全国へも通じる拠点となるよう検討している。

答弁 1
継続的に広域における拠点性を高めていく

増田市長

質問 2 避難所の開設運営訓練を実施する必要があるのでは

災害発生時に職員や消防団員、消防隊員等は、現場での対応や救急救命活動に注力せざるを得ないことが予想され、避難所の対応等が危ぶまれる。

このため、各地域で避難所の開設運営訓練を実施しておく必要があるのではないか。

答弁 2 自主防災組織と積極的に連携を図っていく

福永総務部長

避難が必要な場合には、避難所の開設・運営のすべてを市が実施することは大変難しく、自主防災組織を中心とした地域の自助・共助をお願いすることが多くなると考える。今後は防災士や防災リーダーを中心に、各自主防災組織で避難所開設・運営訓練等を実施していただき、市も積極的に連携を図っていく。



質問 1
**災害時の要支援者体制と
情報伝達手段の整備を**

避難行動要支援者名簿情報を地域防災組織、消防団など避難支援関係者と共有し、迅速な避難誘導が行える体制はできているのか。

また、避難情報等の情報伝達手段として、屋外拡声器の整備は重要であると考え。中国地方の中山間自治体のほとんどが行っている。本市はなぜ行わないのか。

答弁 1
**避難行動要支援者名簿の
整備を行っている**

福永総務部長
個人情報との関係もあり、現在では市で保管・管理している。有事の際に各関係者に情報提供するとしている。

高岡副市長
防災情報の伝達手段は、本市においては、光ファイバーを活用した音声告知放送が最適で、将来にわたって維持管理できる方法である。それに加え、防災一斉メールの利用や消防団、消防署、警察等と連携し、有事の際に対応していきたい。

質問 2
**地域包括ケアシステムにお
ける在宅医療・介護連携の
現状と課題は**

様々な地域の実情と在宅医療・介護ニーズの実態を踏まえての支援体制の構築が急がれている。主体間、職種間の連携が重要と考えるが、本市の取組状況と課題は何か。

答弁 2
**地域包括ケアシステムを
構築し、連携を進めている**

日野福祉保健部長
在宅が進んでいない課題・原因として、家族への負担や急変したときの対応等が不安であるということが考えられる。その不安を軽減するためにも、本市独自で地域づくりの観点から地域包括ケアシステムの構築を進めている。三次市地区医師会、社会福祉協議会及び地域包括支援センターみよしと連携をし、地域包括ケア推進連絡会議を開催し、在宅医療を進める取組を行っている。



屋外拡声器



質問 1
**三次工業団地へのアクセス
改善が必要ではないか**

100%完売の目処が立った三次工業団地は、大型トラックのアクセスが国道375号線からの1路線しかない。出入口近傍で事故があった



三次工業団地

答弁 1
**早期整備に向けて事業を
推進していく**

上岡建設部長
平成26年、27年度は、関係機関等との調整に時間を要したため事業実施ができていない。引き続き、早期整備に向けて事業を推進していく。

質問 2
**水道料金の値上げの明確な
ビジョンを示すべきと考えるが**

水道事業と簡易水道事業の統合に伴う料金の値上げには、持続的・安定的な水道事業を継続するための明確なビジョンを示す必要がある。給水における現状の販売損解消、有収率・接続率向上などの経営努力、激変緩和措置などが具体的に示せるか。

答弁 2
**これから予定されている
検討委員会の報告を受け、
検討していく**

増田市長
三次市水道使用料等検討委員会の報告を踏まえ、料金の引き上げをすすめる場合は激変緩和措置を講じ、市民生活への影響を最小限にとどめべきと考えている。



小田 伸次
ともえ

質問 1
公有財産を
今後どう活用していくのか

現在、市が保有している土地・建物で、有効的に活用していない物件を今後どのようにしようと考えているのか。また、現在は地元で管理している施設についても伺う。

さらに、国等が所有している物件で、有効活用されていない物件について、市が購入に動くという考え方はあるか。

答弁 1
公共施設等総合管理計画に
基づき管理する

部合財務部長

市が保有している土地・建物は、公共施設等総合管理計画の基本的な考え方にに基づき、管理していく。地元で管理していただいている施設など、企業等から活用の希望があった施設については、地元の理解、地域の活性化につながるが大前提であるが、管理計画の考え方にに基づき、譲渡も考えていく。

国等が所有している物件の購入等は、市では公共施設等の縮減が基本にあるが、具体的に有効活用を図ることができるものについては検討する。



現在の文化会館跡地

質問 2
三次地区拠点施設の
管理運営は

三次の観光事業にとって大きな問題と考えている。平成30年度の完成をめざす文化会館跡地の施設建設計画の中には、2つの目的の棟が存在するが、管理運営はどの様に行うのが良いと考えているのか。

答弁 2
専門家の意見も伺いながら
検討していく

瀬崎副市長

現時点では決定していない。展示棟と交流棟とではその目的や機能が異なる部分もあるので、その点も十分に考慮し、専門家の意見も伺いながら検討していく。



藤井憲一郎
ともえ

質問 1
高齢者福祉の充実を
図るには

戦後のベビーブーム世代が、75歳以上になる2025年。介護職員の需要に対し、全国的に37万7千人不足するとの試算が発表されている。今こそ本市においても、福祉法人と連携した人材育成、人材確保に向けた具体策が必要と考えるが。

2025年に向けた介護人材にかかる受給推計

介護人材の需要見込 (2025年度)	253.0万人
現状推移のシナリオによる 介護人材の供給見込 (2025年度)	215.2万人
需給ギャップ	37.7万人

【厚生労働省ホームページより】

答弁 1
介護職員の人材確保は
重要な課題と認識している

日野福祉保健部長

三次地区医師会、社会福祉協議会等の関係機関と連携し、地域包括ケアシステムの構築に向けて事業を進めている。また、市内の社会福祉法人等関係団体が人材確保を検討する支援協議会の立ち上げを検討している。

質問 2
酒屋地区のイベント時の
混雑の解消を

酒屋地区には多くの観光施設が集中しており、本市を代表する観光地となっている。今後も新たな施設ができる予定であるが、駐車場が足りていない。市立三次中央病院の障がい者用駐車場スペースも埋まり、本来の利用者が困っている。緊急車両の通行の妨げにもなると考えるが。

答弁 2
東酒屋のアクセスを
向上させたい

高岡副市長

新たな施設建設にあわせ、駐車場も整備する予定ではあるが、イベント等で多くの駐車場が必要な場合は、シャトルバスの利用や民間の方の用地を借りるなど、既存の駐車場を有効に活用していく。

また、公共交通についても、利用者の方にしっかりPRをして、可能な限り活用していただきたい。



竹原 孝剛
市民クラブ

質問 1 女性活躍推進法の具体化は

次の5点について伺う。

- ① 女性活躍推進法が4月1日に施行された。市において独自の計画を作成すべきではないか。また、現状の調査、公表が十分でないかどうか。
- ② 市立三次中央病院の看護師の労働環境の改善を行うべきではないか。
- ③ 推進法に基づく協議会を設置するの否か。
- ④ 臨時・非正規職員の待遇改善策とガイドラインの策定を速やかに行うこととなっているが、その計画はどうか。
- ⑤ 有給休暇取得率、時間外勤務が県内でも悪い方である。この改善策及び計画数値はどうか。

答弁 1 特定事業主行動計画は、国の策定方法に基づき策定している

福永総務部長
本市では、国の示す判断基準を満たさない項目として、管理職の女性割合及び男性の育児休業の取得率に課題があったため、その向上について計画に掲げている。情報の公表は、国の示す確認項目により現状の調査を行いホームページにおいて公表している。

山本市民病院部署事務部長
② 看護師が働きやすい環境づくりを進めている。例えば、院内保育所の開設、育児等の取得しやすい環境づくり、短時間勤務、夜勤免除、夜勤手当の増額等の取組を行っている。

瀧奥子育て・女性支援部長
③ 協議会設置は、任意のため、現在設置していない。広島県は、県内全市町が構成員となっている「働く女性応援隊ひろしま」を法に基づく協議会として位置付けており、今後、この組織は「働き方改革推進・働く女性応援会議ひろしま」へ発展的改組される。これを本市の協議会として位置付けたいと考えている。

福永総務部長
④ 特定事業主行動計画において子育てと仕事の両立支援やハラスメント等の各種相談体制の整備等の取組について示されており、引き続き働きやすい環境づくりに努めていく。

⑤ 特定事業主行動計画では、年次有給休暇の年間取得日数目標を12日以上としている。時間外の改善は、ノー残業デーの取組、本年からは本庁舎22時間閉庁に取り組みたい。



市立三次中央病院



黒木 靖治
公明党

質問 1 三次市まち・ひと・しごと創生総合戦略による農林畜産業の振興策は

三次市の基幹産業の一つである農業について、市の基本的な考えをお聞きしたい。農業が栄え、農家の所得が向上すれば波及効果も大きい。県、市、商工会、JA農業者、県酪等で協議会を立ち上げて、異業種間の意見交換をし、三次市の産業を創出すべきであると考えているが。

答弁 1 関係団体と意見交換をし、連携を図っていく

花本産業環境部長
本市の基幹産業である農業を持続可能なものとするため、将来の農業を担う人材育成、所得向上に向けて



稲刈り作業

の生産力及び販売力の強化、農地等の資源の保全、これらを基本方針として農業振興に向けた施策を展開していく。
異業種等、多様な分野や角度から意見交換する場として、三次市農業振興協議会等を設けており、今後多様な関係団体等との意見交換を含め連携を図っていく。

質問 2 期日前投票の宣誓書の改善策は

期日前投票の宣誓書については、他の市町は入場券へ印刷をしたり、ホームページから印刷して持参する等の取組を行い、投票率をあげる工夫をしているが、本市はどのような検討がされたのか。また、今回の選挙以降に実施できるのか。

答弁 2 本人が確実に投票できるよ う最善の対策を講じる

福永選挙管理委員会事務局長
宣誓書の印刷は、入場券の面に印刷することになり、投票所の場所等の表記が小さくなり、周知が十分に行えないおそれがあるため、実施は考えていない。

また、現在行っている期日前投票所での宣誓書の自署記入が、なりすまし防止等の不正投票を防止する最低限の対策と考えているので、ホームページからの印刷についても現段階では考えていない。



吉岡広小路
三次志士の会

質問 1
学力向上対策は

広島県が実施した学力テストの結果が公表されたが、三次市の中学校の数字は芳しくない。市長をトップとする新教育委員会制度のもので具体的な対策は。

同時に、中高一貫校設置について、広島県へ誘致に向けての強力な働きかけをすべきと考えるが。

答弁 1
基礎基本の学力を
定着させていく

学力状況調査の結果を受け、この
松村教育長

教科	広島県全体の平均点	三次市の平均点	県立広島中学の平均点	(県内 23 市町中) 三次市の順位	
小学 5 年	国語	63.7	67.2	／	12 位
	算数	69.4	72.9	／	11 位
	理科	60.6	62.4	／	19 位
中学 2 年	国語	69.7	72.7	93.0	10 位
	数学	66.8	71.6	95.2	8 位
	理科	51.8	52.3	84.6	16 位
	英語	69.6	76.3	91.8	6 位

1年間の取組を各学校で分析し、どこにどのような力を付けていけば良いか、授業改善を行っている。

増田市長
基礎基本の学力を定着させていくことを学校現場では徹底的に伝えてもらいたい。

高岡副市長

併設型の中高一貫校の誘致は、用地の確保を始めとして必要な事柄等、官民一体となりオール三次で積極的に取り組んでおり、毎年広島県に提出している提案書にも位置づけ、力強くお伝えしている。

質問 2
観光行政の強化は

尾道市や松江市の観光協会のトップは商工会議所の副会長だ。観光協会のホームページを開けば、すべてのイベント情報がわかり、ホテルやレストラン等の予約も簡単にできる。交通アクセスも詳しく伝え、観光客に喜んでいただき、より地域経済が潤う観光行政に変えるべきと考えるが。

答弁 2
観光協会全てと連携をして
いく

白石地域振興部長
三次市観光協会だけではなく、市内5つの観光協会としっかり連携をして観光振興に取り組んでいく。



伊藤 芳則
日本共産党

質問 1
旧市部の水道料金の値上げ
はすべきでないと考えるが

水道事業と簡易水道事業を統合するに当たり、2つの異なる料金体系を一本化するとの検討がされているが、そもそも基準の違うものを料金の高いほうに合わせるとなると、多くの市民の負担が増えることから、行うべきではないと考えるが。

答弁 1
激変緩和措置は取るべきと
考える

増田市長
三次市水道使用料等検討委員会からまだ報告をいただいてないのではっきり言えないが、もし水道料金を上げることになれば、激変緩和措置をとるべきと考える。

質問 2
米価下落による農業支援を
すべきと考えるが

米価下落と2018年産米から「米の直接支払交付金」がなくなる。三次市の農業者は、3ha未満の農家が95%を占めている。兼業農家や家族農業を守るため、市独自の補助金制度ができないか。

答弁 2

振興作物等の新規作付や規模拡大等に対し、重点的に支援をしている

花本産業環境部長

国において、米をはじめ全品目を対象に価格下落や災害による収量減少への対応を含め、農家の収入減少を補てんする収入保険制度を検討されており、国の責任において、農業経営安定のためのセーフティネットの導入を図るべきと考えている。



田園風景



質問 1

介護職員育成に補助制度を

介護職員不足で福祉サービスが縮小される実態がある。働きながらの介護士初任者研修、実務者研修等を受講、資格取得は経済的な課題がある。利用者に質の高いサービスが提供され、人材確保に繋がる受講費用補助制度の構築の考えはないか。

答弁 1 受講料が無料で受けることができる制度を設けている

日野福祉保健部長
職業訓練センターで、市内民間事業所の従業員の方は受講料を無料で受けることができる制度を実施している。勤めながら受講が難しいことについては、事業所に制度の趣旨を広報等含めて啓発を進めていく。

質問 2 障がい児に対する市独自の支援体制は

三次市福祉総合相談支援センターに6つの相談機関が集約され、支援事業に取り組んでいる。国が障がい児に対する切れ目のない支援体制を構築する自治体に整備費用を補助する事業を始める。この事業をもとに本市独自の支援体制の構築の検討としてはどうか。

答弁 2 関係部署と連携し、一貫した体制をとっている

日野福祉保健部長
福祉関係、学校関係、子育て関係といった部署が集まり、個別ケース等も含めて協議を行っている。また、サポートファイルを通じ、保護者の方と情報の保護を図りながら、一貫した体制をとっている。



質問 1

新市まちづくり計画フォロ事業は完了できるのか

新市まちづくり計画フォロ事業は、均衡あるまちづくりのためにすべての事業を完了する必要があると考える。

事業の概要、進捗状況はどのようになっているのか。また、事業は計画どおり完了できるのか。できないときにはどうするのか。

答弁 1 期間内に事業着手するよう努める

白石地域振興部長
各地域審議会から意見具申いただいた70事業について、新市まちづくり計画検討委員会で31事業を抽出した。計画事業費は、約13億5千万円となっている。

進捗率は、平成27年度末で完了事業が7事業、未完了事業が12事業、未着手事業が12事業となっている。期間内に事業着手するよう努めるが、期間終了後に未実施事業がある場合は、他の事業債等の有利な財源を活用して実施していく。

質問 2 地域懇談会での保護者要望に対して2年が経過するが早急の対応を

2年前の地域懇談会で中学校の保護者から「三次の高校へ通学させたいが、路線バスでは片道しか利用できない。スクールバスを運行して欲しい」との要望に対し、「何ができるか検討していきたい」と答弁して2年経過した。早急に対応すべきと考えらるが。

答弁 2 公共交通の利用を第一に考えていく

瀬崎副市長
路線バスや市民バス、JR等、公共交通による手段の確保が基本であると考えており、各ダイヤの調整等を進めていく。



路線バス



杉原 利明
真正会

質問 1
後継者不足は農業だけの問題ではないと考えるが

独自技術や販路を持っていたり、三次のブランド力を高める産品を製造販売されている事業所を含め、市内事業所の後継者不在は顕在化している。家族に限らず、他者への事業承継を行うことのできる仕組みづくりを急ぐべきではないか。

また、相談を待つのではなく、アンケート調査等で市が把握すべきではないか。



【広島県事業引継ぎ支援センターのホームページより】

答弁 1
仕組みづくりに取り組んでいる

花本産業環境部長
昨年度から三次商工会議所、三次広域商工会、国や県の専門機関等とそれぞれの専門分野から必要に応じた助言や指導が行える融資を含めた仕組みづくりに取り組んでいる。

アンケートについても、現在データがないため、意向や課題について意見を集約する必要があると考える。

質問 2
課題解決に向けた仕組みづくりのできる人材育成を

企業誘致の一環で、大手企業に短期間、「ワーキングスペース」^{※注}を提供し、三次で日常業務をしてもらいながら、空き時間は地域の資源や課題を探る研修プログラムを作成し、三次市、企業、地域にとって三方良しのビジネスモデルを作ってはどうか。

※注 様々な業種、年齢の方が集まり、仕事をできる場所のこと。

答弁 2
三次町で空き家再生創造拠点化事業を始めた

藤井政策部長
本年度から三次町の方、市民、市外の方、30人程度で、三次町の空き家を活用して何ができるか考え、実際に改修を行ってみるといふコンセプトで事業を始めている。市民と市外の方も含めてつながる場を作りながら、仕組みを作っていく。

市政を問う

その他の質問

桑田 議員

問

このまえ三次市空家等対策の推進に関する条例が施行されて1年以上経過するが、特定空家^{※注}への対応ができていないのか。所有者がわからず苦慮する場合もあるのではないかと。

※注 倒壊の恐れや衛生上問題のある空き家。

答

相談のあった物件については、現地調査を行い、危険を取り除いていただくよう所有者に対し随時対応している。また、所有者が特定できない物件もあるが、弁護士等に相談しながら適切に対応していく。

穴戸 議員

問

学校の先生が教えることに専念できる環境をどのようにしていくのか。

答

人的配置では、市独自の市費教員配置によって、他市に比べ教職員の業務量は軽減され、子どもに向かい合う時間が確保されている。

業務量の軽減については、広島県教育委員会に調査物や報告物等の軽減をこれまで以上に求めている。

新家 議員

問

京セラディスプレイが三次から撤退された後の建物について、その建物を使用してくれる企業の誘致に取り組まれたのか。

答

全国の企業に対し、企業誘致担当者や広島県東京事務所、広島県大阪情報センター、一般財団法人日本立地センターの職員が訪問活動をし、物件の紹介や情報提供を行っている。興味を持たれた企業もあったが、スケジュールが合わないということで断念された。

小田 議員

問

学校は災害の時、避難所にもなっている。子どもの避難訓練等は行っていると思うが、防火扉等の設備について、稼働点検等は行っているのか。

答

校内の防火管理者である管理職が、施設・設備の点検を日々行うとともに、月に一度、学校保健安全法に基づいた点検を実施している。教育委員会ではその点検結果の報告を受け、改修等が必要な場合は随時行っている。

藤井 議員

問

核家族化が進んだ今日、初等教育からお年寄りとふれあう体験や積極的に高齢者福祉に対する学習を進める必要があると考えるが。

答

中学校2年生で職場体験学習を行っており、直接体験することとは夢や志につながる大変重要なことと考える。また、学習については、道徳や社会科で取り組んでおり、地域の学習のひとつとして総合的な学習の時間で、福祉を取り上げている学校もある。

竹原 議員

問

地産地消の取組は、地域を強くする。地域内で消費することで、その利益がその地域の生産者へ返ってくるとなれば、良い循環ができる。このような地域内経済循環を良くするシステムづくりに取り組む必要があると考えるが。

答

本市では、三次市地産地消の店の認定や学校給食、みよしふるさとランチの日等を通して、三次産農産物の利用促進を行っている。今後トレッタのみよしをはじめ市内産直市と連携し、新鮮で安全・安心な三次産農産物の魅力を市内外へアピールするとともに、安定生産・安定供給の仕組みを構築し、飲食店、

学校給食等への供給や販路の拡大を図っていく。

黒木 議員

問

三次市結婚支援グループが企画し、婚活イベントを開催されているが、その婚活イベントに参加し、その後結婚に至る等、結婚支援の取組、成果について伺う。

答

本市が活動補助を交付している三次市婚活支援グループは、年間3〜4回の婚活イベントを企画・運営され、平成25年の成婚は7組、平成26年は5組、平成27年は2組という報告を受けている。

今後も引き続き、本市が主催している企業間の独身男女のグループ交流「きりまちフェス」の取組とも連携をし、婚活支援に取り組む。

吉岡 議員

問

三次地区拠点施設は、何人来館される予定なのか、どれだけの収益が見込めるのか、入場料や建設費はいくらか、どのよう

答

に想定されているのか。三次地区拠点施設は、にぎわいを再生していくというものが基本にある。この施設は、もののけをメインに据えた学術的にも評価をされ得るような施設としたい。ま

横光 議員

問

鵜匠の年間手当は300万円余りだが、その中から鵜船の舵子さんの賃金、鵜飼に必要な消耗品等の支払いをされている。市はその手当額が十分だと考えているか。

答

市は、三次市観光協会を通じて、三次鵜飼伝統文化振興会に年間1,250万円の補助金を交付しており、この補助金から鵜飼の活動費や舵子さんの賃金、エサ代等に充てられている。貴重な観光資源であり伝統文化である鵜飼をどのように守り、継承していくのか、鵜匠が鵜の飼育にかかわれる環境整備の観点も踏まえ、観光協会を始め、関係者と一緒に模索していく。

伊藤 議員

問

給水区域外の地域についても、安全で良質な水を安定的に供給し、飲料水確保のため、給水計画を立てる考えはないか。

答

生活用水は欠かせない大切なものであり、給水区域外の地域については、三次市独自のボーリング補助制度等を設け、飲料水の確保ができるように支援している。

鈴木 議員

問

地域や居宅に介護サービスが移行されても、既存の施設サービスが減ることは無い。介護職員不足は続いていく問題であり、どのように対応するのか。

答

全国的な介護人材不足の大きな要因は、介護職員の給与・待遇面等であると考え。養成講座の無料受講の取組以外に、人材確保の取組として新たに支援協議会を立ち上げることを検討している。

杉原 議員

問

ミニエスポットは、市内どこでも使える環境を整えることが必要と考える。国の補助金も利用しながら整備を進める必要があると考えるか。

答

これまで市の施設6か所に整備している。今年度の施政方針でも示しているが、国内外の幅広い観光客をターゲットとして整備することとしており、市所有の観光施設を今後3年間で6か所整備する予定としている。

広報広聴常任委員会 行政視察研修報告

実施日

平成28年7月27日(水)～28日(木)

視察地

山口県山陽小野田市議会、
長門市議会

広報広聴常任委員会では、三次市議会報告・懇談会の運営が、年々マンネリ化が進み、参加者の固定化等の課題がある。また、女性・若者の出席が少なく、議会報告・懇談会のあり方を模索するため、山陽小野田市議会広報広聴特別委員会との意見交換をした。その中で同委員会は本市と同様に議会だよりの発行や議会報告会を開催されているが、議会報告会は多岐にわたり活発に開催され、その他条例で定められた、市民懇談会、自治会懇談会、出前講座等を開催し市民への広報広聴の場を設けている。

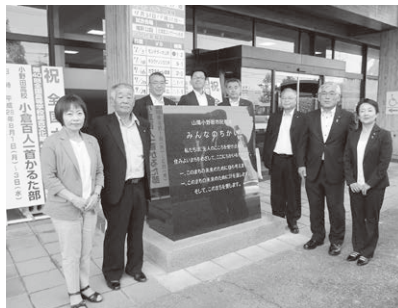
また、市民からの意見等は即答や電話での連絡以外は、所管常任委員会に振り分け、各委員会で調査し、政策提言にも結び付けている。

議会だよりは、中学生にも理解できるような内容とし、文字の大きさ、余白のバランス等に配慮し、読みやすさを徹底している。

三次市議会でも平成25年からタブレットの導入に向け視察を重ねてきているが、昨年の議会運営委員会から議会改革の取組としての提言もあり、情報共有の迅速一元化、効率的な議会運営、ペーパー



長門市視察状況



山陽小野田市役所玄関

レス化による経費削減等を目的とし、その活用について、長門市議会の取組を視察した。同市議会ではすでにタブレットを使用しており、議会改革特別委員会による所掌事務の一つとして「情報通信の充実に関すること」を定めており、この視察当初の目的に合致した内容である。

導入にあたっては、議長の導入意欲が推進力であった。また、執行部の導入が遅れており、タブレット導入効果を出すには、議会と執行部の取組への協力が必要である。

平成28年度 議会報告・懇談会の開催について～市民と議会のつどい～

議会報告・懇談会は、地域の皆さんに直接、市議会議員が議会の活動等について報告し、同時に、議会運営や議員活動に対するご意見・ご提言をお伺いしたいと思っております。

多くの皆さんのご参加をお待ちしています
※要約筆記・手話・託児を必要とされる方は、議会事務局へご相談ください。



■ 主な内容

- 第1部 議会報告
 - 1 常任委員会報告
 - 2 質疑応答
- 第2部 懇談会（意見交換）

■ 開催日程

開催日	時間	会場
平成28年 11月 5日(土)	13:30～15:15	協同組合サングリーン (1階センターコート)
11月 7日(月)	19:00～20:45	河内コミュニティセンター
		川地コミュニティセンター
11月 8日(火)	19:00～20:45	十日市コミュニティセンター
		みわ文化センター
11月 9日(水)	19:00～20:45	和田コミュニティセンター
	13:30～15:15	田幸コミュニティセンター
	19:00～20:45	布野生涯学習センター
11月11日(金)	19:00～20:45	甲奴コミュニティセンター
		三良坂コミュニティセンター
11月12日(土)	13:00～14:45	CCプラザ (1階セントラルコート)

開催日	時間	会場
11月14日(月)	13:30～15:15	八次コミュニティセンター
11月15日(火)	19:00～20:45	神杉コミュニティセンター
		川西コミュニティセンター
		君田生涯学習センター
11月16日(水)	19:00～20:45	作木山村開発センター
		粟屋コミュニティセンター
		酒屋コミュニティセンター
11月18日(金)	19:00～20:45	吉舎生涯学習センター
		三次コミュニティセンター 青河コミュニティセンター

※本年は、従来の夜間にコミュニティセンター等で開催していた方法のみではなく、昼間の開催も実施します。

議会のうごき

2016(平成28)年
8月1日~10月31日

8月	3日	行財政改革調査特別委員会
	4日	議会運営委員会
	8日	議会運営委員会、平成28年第2回臨時会、議会改革推進特別委員会
	9日	議会運営委員会
	18日	地域公共交通調査特別委員会
	23日	議会運営委員会
9月	29日	議会改革推進特別委員会
	30日	9月定例会告示、議会運営委員会、全員協議会
	8日	議会運営委員会
	9日	議会運営委員会、9月定例会本会議、予算決算常任委員会
	12日~14日	本会議(一般質問)
	12日	広報広聴常任委員会
10月	15日	総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会
	20日~29日	予算決算常任委員会
	29日	広報広聴常任委員会
	3日	議会運営委員会、本会議、全員協議会、行財政改革調査特別委員会
	5日	議会改革推進特別委員会
	13日	広報広聴常任委員会、総務常任委員会
	14日	会派代表者会議
	24日	全員協議会、広報広聴常任委員会
	25日	議会改革推進特別委員会

行政視察受入状況

8月	25日	石川県野々市市(議会改革について)
	31日	北海道石狩市(定住促進、小中一貫教育推進事業について)
10月	13日	群馬県安中市(議会基本条例について)
	20日	広島県庄原市(福祉タクシー券について)
	24日	福島県伊達市(住民自治組織とまちづくりビジョンについて)
	25日	滋賀県近江八幡市(議会運営と議会改革について)
	26日	岩手県遠野市(まち・ゆめ基本条例、地域まちづくりビジョンについて)
	28日	広島県海田町(地域健康づくり事業について)

🔊 議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴される方は、当日傍聴席の入口で傍聴券を受け取って入場してください。車イスを利用される方のスペースや、集団補聴システム(磁気ループ)が整備されていますのでご利用ください。

なお、傍聴席(30席)が満席となった場合は、入場を制限しますのでご了承ください。

📄 請願・陳情の提出について

市政についての意見や要望を直接市議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言います。どなたでも提出することができます。

📺 議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議・予算決算常任委員会の生放送と、当日の夜7時から本会議の再放送をしています。

また、市議会のホームページにおいて本会議の様態をインターネット配信しています。ぜひご覧ください。

📺 市議会だよりテレビ早刷り版をご覧ください

定例会終了後、ケーブルテレビの「あっちこっち3次」に議員が出演し、毎定例会の報告を行っています。

📱 無料アプリ「マチイロ」版の議会だよりについて

無料アプリ「マチイロ(旧サービス名:i広報紙)」を利用してみよし市議会だよりをご覧いただくことができます。

詳しくは市議会ホームページのみよし市議会だよりのページをご覧ください。

お問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110

Eメールアドレス / gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp

みよし紀行

「シラサギの仮住まい」上志和地町 川地大橋付近

9月18日の大雨により、川が増水しました。それにより影響を受けたのは、人だけではありませんでした。普段は川辺の竹林にとまっているシラサギが、寝床を奪われてしまいました。

水が引き、寝床としていた竹林も元に戻ったのですが、シラサギ達は竹林には戻りませんでした。その翌日ぐらいでしょうか。竹林近くの川を横断している電線に止まっているのです。それも約40羽。

それ以来、夕方になると仲良く群れになり帰ってきて、電線で羽を休めています。シラサギの賢さと力強さを感じました。(池田 徹)



— | あ | と | が | き | —

早いもので、今年も後2ヶ月余りとなりました。

今年は、リオオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍、カープ25年ぶりのリーグ優勝、東京工業大学・大隅良典氏のノーベル賞受賞と、喜びの多い年でした。

しかし、一方では熊本での大地震、イギリスのEU離脱、北朝鮮の不穏な動きなど社会不安も広がっています。

平和な世界へと政治の役割は、ますます重要になってく

ると感じる昨今です。

さて、今、広報広聴常任委員会では、議会でのタブレットの導入準備を進めています。沢山の紙資料のペーパー化や、より充実した議員活動のための取組です。

これからも広報広聴活動のレベルアップとともに、皆様にわかりやすい議会をめざして頑張っていきたいと思っています。(岡田美津子)